

1. 気象概況（中野市長丘地区気象ロボット観測データによる）

旬別 月間	上旬		中旬		下旬		月間		特記・コメント
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
3 月 平均気温(℃)	4.4	2.3	5.7	3.3	9.0	4.5	6.4	3.4	月間平年比+3.0℃
3 月 降水量 (mm)	23.5	25.1	6.0	20.7	27.0	20.2	56.5	66.0	月間平年比 86%
3 月 日照量 (h)	51.7	48.8	68.2	62.3	67.6	65.7	187.5	176.8	月間平年比 106%

- 豪雪情報(2020-2021)：最大積雪量 79 cm(田上 1/1) 累計降雪量 421 cm(田上 12/15-2/28)
- 年度別氷点下-10℃以下遭遇(12-3 月)：過去 5 年で最多は 2017 の 21 回。

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020
回数	11	18	21	14	5	16

2021 3 月気象ポイント解説

気温：3 月としては過去最高気温帯で経過。最高気温 23.0℃（3/29） 最低気温－6.3℃（3/11）

降水量：21.0 mm（3/2）、15.5 mm（3/21） 強風：15.4m/ s （3/2） 16.0m/ s （3/10） * 3/2 強風で一部施設に被害あり

日照量：晴天日が多く、平年比 106%で経過。

3 か月予報：ラニーニャ現象終息。桜の開花は平年比▲7-10 日早い。

2. 生産の経過・病虫害発生状況・今後の対策

【生産特記 2021】

① 生産基盤（推定）：ぶどう 350ha・りんご 150ha・もも 83ha・和梨 12ha・西洋梨 6ha・桜桃 7ha・柿 6ha・プラム 38ha

② ハウスプラム：1 棟（貴陽） 3/15 幼果期。初出荷予想 5/20～。

③ ハウスサクランボ：被覆数 20 棟（3/15 時点）初出荷 3/31～。 全体の収穫・出荷時期は平年より早まる見込み。

④ ハウスもも：発芽 1/25 開花 2/4 満開 2/7。結実良好、生産量確保。 収穫開始予想 5 月の連休頃～

⑤ りんご：全域でふじの花芽不良（貧弱・欠落等）。二次伸長芽も多い。隔年結果が心配されるため、人工授粉を徹底し生産量確保する。

⑥ 豪雪被害：年末～年始豪雪でりんご・もも老木樹等で枝折れ被害あり。北部地帯でで減収の一因となる可能性あり。

⑦ 凍害：春季の低温遭遇で若木中心に発生が心配される。防寒資材（ワラ他）外しはできるだけ遅らせる対策が必要。

⑧ 生育予想：暖冬・3 月記録の高温等により果樹類全体で大きな前進。防除体制は平年より 2 週間早めの意識必要。

発芽：プラム 3/21 もも 3/25 ナシ 3/28 りんご 3/29 巨峰 4/20 シャイン 4/25 * 平年比▲7。南北差はほぼなし。

開花：プラム 4/3 もも 4/8 ナシ 4/15 りんご 4/22 巨峰 5/30 シャイン 6/2 *開花始めは平年より 7-10 日程度と大幅に早い見込み。

満開：プラム 4/6 もも 4/10 ナシ 4/20 りんご 4/26 巨峰 6/2 シャイン 6/7 *開花始めは平年より 7 日程度と大幅に早い見込み。

【2021 病虫害対策】

① 腐らん病：冬季からの早期発生。果台部や小枝の被害目立つ。被害部の削り取りや被害枝の除去は見つけ次第早急に実施する。

② せん孔細菌病：昨年と比べ、枝病斑は少ない見込み。病斑（キャンカー）は 4/10 前後から確認できる見込み。早期予防徹底必要。

③ 黒星病：りんご展葉期初期（4/5 前後）の早期感染心配される。早期予防散布徹底必要。

④ 晩腐病：巨峰中心。発芽直前（4/10～15）からの薬剤散布徹底と病源（巻きひげ）除去徹底（早期密度抑制）必要。

⑤ 黒とう病：シャイン M 中心。発芽直前（4/20 前後）・展葉 2-3 枚目（5/1-5 頃）の初期の密度抑制対策必要。

⑥ 輪紋病：病源であるイボ皮が各地で目立つ。削り取りと場合により梅雨期間のボルドー散布を計画する。

⑦ カメムシ：越冬量は多いと見込まれる。ぶどう・りんご等 4 月下旬から忌避目的の予防散布徹底必要。

⑧ カイガラムシ類：プラム・もも・りんごで寄生目立つ。ウメシロカイガラは 5/15 前後～、ナシマルカイガラは 6 月初旬～専用剤散布徹底必要。

⑨ ハダニ類：昨年りんご（赤）ハダニ多発園は 6 月初旬からの早期予防必要。このままいけばナミハダニの発生も早まる見込み。

⑩ キンモンホソガ：越冬量は非常に多い見込み。開花期（4/20 前後）から発生見込み。早期密度抑制必要。

⑪ ケムシ類：H27 多発。数年ぶりの多発の可能性あり。開花期（4/20 前後）から発生見込み。開花期の遅れがないように注意する。